

デモンストレーション概要

本調達では、評価を行うためにデモンストレーションを実施する。

1 目的

デモンストレーションをとおして、提案システムの操作性や見やすさ、提案者（説明者）のシステム理解度などの観点から評価を行う。

2 評価視点

- (1) システムに対する評価
 - ・システムの操作性
 - ・見やすさ、わかりやすさ
- (2) 提案者のデモンストレーション実施における評価
 - ・提案者（説明者）におけるシステム理解度

3 実施時間

プレゼンテーション・ヒアリングの時間配分は、1事業者あたり75分。
そのうち、デモンストレーションを含む説明を60分、質疑応答を15分とする。

4 デモンストレーションシナリオ

- (1) 起債管理システムへ登録の流れ
 - 新規登録、過去の台帳を複写してからの登録
 - CSVインポートによる登録や登録作業中の一時保存
- (2) 帳票等の出力の流れ及び見え方の特徴
 - 借り入れ毎の台帳出力
 - 借入（親）・事業別（子）・交付税別（孫）、借入先別等の一覧表出力
 - 帳票形式、CSV形式等の見え方の特徴
- (3) 公債費シミュレーションの流れ
 - 償還シミュレーションの方法及び特徴（新規発行、利率見直し、借換え等）
 - 該当年度の利率見直し及び借換え対象の検索方法
- (4) その他
 - 業務効率化につながるシステムの利用方法（決算統計など）
 - 他都市の事例などで便利な機能の紹介（問い合わせの多い機能など）

5 説明者

構築業務を担当する者もしくはプロジェクトリーダーが行うこと。

※デモンストレーションでは、提案者を推測できるような文字・マーク（ロゴ）・システム名称（固有名詞）等は使用禁止とする。